

## 一般財団法人三重YMC 2025年度事業計画書

### § 1 意義

一般財団法人三重YMCは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長することを願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

#### 【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」  
(ルカによる福音書13章29節)

### § 2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMCは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

### § 3 経営ビジョン

「人々が集い、弾ける笑顔にあふれる場となっている」

### § 4 経営目標

幼児・青少年が心身の健全な成長をはかれる活動を実践する

### § 5 2025年の計画

2024年度は、主たる事業であるYMCA幼児園において、人の移動に伴う新しい体制で業務に取り組んだ1年であった。また外国人講師の退職に際しては、それぞれのネットワークを通して新しい講師が確保でき、英語教育を滞りなく進められる状況になった。

このような変化の多い1年を乗り切ることができたのは、職員全員の保育への熱意が実ったものと感謝している。

2025年度は、新しい環境のもとで認可外保育施設としての役割をはたすため、保育の内容をより充実し、子どもたちの弹ける笑顔にでえるよう取り組む。

1 YMCA 幼児園（幼児学童育成事業）

- (1) 英語・体育・野外活動という特色を活かしつつ、保育内容を充実する。このため、外部講習会への参加と、四日市市幼児教育センターの巡回指導を仰ぐ等により保育士の能力向上をはかる。
- (2) 幼児英語は、外国人講師（週1日）、DAYS Englishにより、小学生英語は、日本人講師により内容を充実する。

2 体操教室（青少年育成事業）

幼児・小学生の体操教室を社外委託により実施する。

3 ピアノ・小学生クラフト教室（音楽等教室事業）

ピアノ・小学生のクラフト教室を開催する。

4 TOEIC会場運営の受託（語学検定受託事業）

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会から、TOEIC公開テストの会場運営業務を受託する。9回の予定である。

5 法人関係

- (1) 今後の財団法人の在り方を検討する。
- (2) 財団法人の賛助会員を改めて募集し、賛助会組織を立ち上げる。

§ 7 2025年度予算（案）

資料1のとおり

以上